

1. 意思・意志

- ・意欲的に練習に参加する姿勢
- ・チームメイトとコミュニケーションを積極的にとり、よりよいプレイを目指そうとする姿勢
- ・練習の意図を理解し、上達するための努力を惜しまない姿勢

2. プレイスタイル

- ・イニシアティブをとれる（コート内でのリーダーシップ・主導権）
- ・コンタクトを好む（接触があってもプレイができるかどうか）
- ・1対1で戦うことを好む（ボールを持った1対1、ボールを持たない1対1）
- ・瞬時にゲーム状況を読む（自分たちの流れを呼び込める力 相手の流れを止められる力）
- ・予測力（パスコース ヘルプのタイミングなど）
- ・トランジション能力（ディフェンスからの速攻 シュート後のハリバック）
- ・楽しんでプレイしている

3. ファンダメンタルズ

- ・基礎技術の実践力
(フットワーク、パッシング、ドリブル、シューティング、リバウンディング)
- ・オフェンス、ディフェンスのスペーシングの理解
- ・状況判断力

4. 運動能力

- ・クイックネス能力
- ・ジャンプ力（速筋タイプ）
- ・柔軟性

5. その他

- (ア) 身長・指高・指極
- (イ) 予想身長
- (ウ) コーディネーション能力
- (エ) 経験年数
- (オ) 特殊な能力
(シュート力、リバウンド力、リーダーシップ、創造性など)

以上の項目を総合的に判断して評価する。

(JBA 技術委員会ユース育成部会 参照

http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/2_Players_Standard_20190401.pdf)

※マルファン症候群の選手は育成センター事業活動に参加できない可能性がある。

※選考人数、結果報告、具体的活動の日時などの詳細については当日以降にお知らせする。